

教育研究業績及び社会貢献等業績リスト(個人用)

1. 教員基本情報

氏名 (ふりがな)： 小林淳哉 (こばやし じゅんや)	
所属： 物質環境工学科	役職： 教授
学位等： 博士(工学)	
所属学会： 日本化学会、触媒学会、石油学会	

2. 教育研究業績

査読付き論文, 国際会議論文(過去 5年間の ・ 3年間の ・ 全ての ・ 主要な 実績)	
1.	小林淳哉, 中村和之, 緑青の発生した古銭の表面組成から内部組成の推定, 出土銭貨, (36), 38, 2016年3月
2.	小林淳哉, 中村和之, 緑青の発生した古銭の表面分析からの内部組成の推定, 日本文化財科学会大会研究発表要旨集, Vol. 32nd Page. 76-77 (2015. 07. 11)
3.	下野功, 高橋志郎, 森千太郎, 佐藤克行, 小林淳哉, 都木靖彰, ホタテ貝殻から創製した物理 - 化学的識別物質, 北海道立工業技術センター研究報告 No. 13 Page. 18-25 (2014)
4.	黒田大介, 小林淳哉, 桜庭弘, 市坪誠, 野口健太郎, 小島隆史, 高専機構のモデルコアカリキュラムに対する質保証(1) : 到達度試験実施のシステム構築, 工学教育研究講演会講演論文集, 平成 26 年度(62), 290-291, 2014
5.	江崎修央, 小林淳哉, 野口健太郎, 勇秀憲, 市坪誠, 小島隆史, 高専機構のモデルコアカリキュラムに対する質保証 - シラバスと連動した科目間関連システムの開発一, 工学教育研究講演会講演論文集, 平成 26 年度(62), 298-299, 2014
6.	櫻庭弘, 池田耕, 江崎修央, 北島宏之, 松橋将太, 小林淳哉, 高専機構のモデルコアカリキュラムに対する質保証 - 電子回路教育における ICT 活用アクティブラーニングの実践とその効果一, 工学教育研究講演会講演論文集, 平成 26 年度(62), 302-303, 2014
7.	小林 淳哉, 市坪 誠, 岡根 正樹, 櫻庭 弘, 野口 健太郎, 黒田 大介, 分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証①-全体像と取組が目指すもの-, 工学教育研究講演論文集, 3-223, P.285, 2013
8.	黒田 大介, 小林 淳哉, 市坪 誠, 櫻庭 弘, 岡根 正樹, 池田 耕, 分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証⑤-到達度保証のための共用試験 (CBT) の構築-, 工学教育研究講演論文集, 3-227, P.289, 2013
9.	下野功, 小林淳哉, 都木靖彰他, ホタテガイ貝殻から創製した蛍光体の物理 - 化学的識別物質への応用, 日本セラミックス協会年会講演論文集 Vol.2014, NO. 1, p160 (2014)

10.	下野功, 小林淳哉, 都木靖彰他, ホタテガイ貝殻を用いた蛍光体の創製とその応用の提案(II), 日本セラミックス協会年会講演予稿集 Vol.2012 Page.341 (2012) Hiromi Matsuhashi, Hideo Nakamura, Tatsumi Ishihara, Shinji Iwamoto, Yuichi Kamiya, Junya Kobayashi,他, Characterization of sulfated zirconia prepared using reference catalysts and application to several model reactions, Applied Catalysis A: General, vol.360 pp.89-97(2009)
-----	---

その他の論文(過去 5年間の ・ 3年間の ・ 全ての (主要な) 実績)

1.	小林淳哉, 貝殻を有機物資源として捉えた抽出物の高度有効利用科学研究費補助金(基盤研究 (C))研究成果報告書, 24561017
2.	小林淳哉, 浜克己, 鈴木孝司, 富田亜樹, 八重樫孝友, 仲川織恵, 退職技術者等を活用した総合的ものづくり教育, 日本高専学会誌,16(1), pp.27-30(2011)
3.	球状化処理した貝殻粒子を利用した高機能材料開発, 科学研究費補助金(基盤研究 (C))研究成果報告書, 18560786,pp.1-31

著 書(過去 全ての (実績))

1.	小林淳哉 編著 Professional Engineering Librrary 化学、実教出版(2015)
----	---

特 許 等

1.	食品若しくは医薬品又は飼料用の標識化された添加物及びその製造方法 特許公開 2013-201951
2.	食品若しくは医薬品又は飼料用の標識化された添加物, 同標識化された添加物の製造方法及び食品若しくは医薬品又は飼料の識別方法, 特許公開 2011-227066

3.社会貢献, 外部資金等業績

社会貢献, 外部研究費, 共同研究, 受賞等(過去 (5年間) ・ 3年間 ・ 全て)

	(社会貢献)
1.	22年4月～ 触媒学会北海道支部 代議員
2.	24年4月～一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構 運営協力委員会委員
3.	24年4月～函館市臨海研究所使用資格審査委員会委員
4.	24年4月～函館市産業支援センター入居資格審査委員会
5.	24年4月～南北海道学術振興財団助成事業審査委員
6.	24年4月～函館市中心市街地活性化協議会委員
	(外部資金)

1.	文化財の形状によらず実施可能な波長分散型蛍光 X 線による元素分析に関する研究、基盤研究(C) 2016-04月1日～2019年3月31日(研究代表)
2.	貝殻を有機物資源として捉えた抽出物の高度有効利用, 科学研究費補助金(基盤研究(C)) 2012年4月1日～2014年3月31日(研究代表)
3.	文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証」2012年4月～2017年3月(予定)

4.校務実績

校務業績 (過去, <u>全文</u>)	
1.	副校長(教務主事)
2.	
3.	
4.	
5.	
6.	

業績について「過去3年(5年)」,「主要なもの」を記載した方で,それ以前の業績を ReaD 等の外部データベースに記載している方は,その URL を記載して下さい.

<http://researchmap.jp/read0177289>

更新日 2017/2/12